

決算 審査

決算審査特別委員会



決算審査
PICK UP
1

若年層への 選挙啓発を図る



明るい選挙啓発ポスター展(コンパス)

Q 選挙啓発、投票率向上にどのように取り組んでいるか。

A 若い世代の投票率が低いため、高校生以下の意識の向上を図る取り組みとして、小中学生からの明るい選挙の啓発ポスター・標語の募集・展示や、中高生に対する選挙出前授業等を実施しています。また、年代別投票率や親子連れ投票の推進を掲載するなどのホームページの充実も図っています。

決算審査
PICK UP
2

子育て期等における 支援の充実を図る



こども家庭センター(本庁1階)

Q 子育て世代包括支援センター運営事業について、内容と成果は。

A 令和5年4月に、こども家庭センターに名称を変更し、母子保健と児童福祉双方の業務に取り組んでいます。主な業務は、妊娠期から子育て期に関する各種の相談に応じ、必要な情報提供や助言、保健指導などです。本センターを開設した令和元年度と令和4年度の子育てに関する相談件数を比較すると、令和元年度が実人数で273人に対し、令和4年度は590人で216%の増となっています。

決算審査
PICK UP
3

駐輪場における放置 自転車の撤去を実施



佐原駅北口自転車駐輪場

Q 令和4年度における放置自転車の撤去台数と撤去までのプロセスについては。

A 令和4年度は、24台の撤去を行っています。職員の巡回確認により、長期間動いていないと思われる自転車に撤去の警告書を張り付け、それでも移動がないものに関して、小見川駅付近の保管場所等へ移動し保管します。その上で、防犯登録により警察に照会をかけ、所有者が判明したものについては、所有者へ通知をし、所有者が不明のものは、一定期間後に処分を行っています。



決算審査特別委員会

令和4年度決算をチェック

お金の使い道を 審査しました!

市長は、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査を受け、期日までに議会の認定を受けなければなりません。審査の結果、全ての決算が認定されました。

令和4年度決算の概要

一般会計決算額

歳入 400億5,597万465円 (前年度比 3億8,058万4,526円、0.96%増)

歳出 370億1,136万3,568円 (前年度比 4億8,994万2,852円、1.34%増)

●歳入歳出差引額 30億4,460万6,897円 ●翌年度繰越財源 2億6,287万4,130円 ●実質収支額 27億8,173万2,767円

特別会計決算額

●国民健康保険事業

歳入 97億8,973万9,538円

歳出 94億2,730万4,391円

●歳入歳出差引額 3億6,243万5,147円

●土地取得事業

歳入 435円

歳出 435円

●歳入歳出差引額 0円

●病院事業債管理

歳入 4億4,044万356円

歳出 4億4,044万356円

●歳入歳出差引額 0円

●介護保険事業

歳入 79億6,923万9,157円

歳出 75億6,022万3,139円

●歳入歳出差引額 4億901万6,018円

●後期高齢者医療事業

歳入 11億575万2,251円

歳出 11億336万251円

●歳入歳出差引額 239万2,000円

●観光事業

歳入 1億8,265万6,999円

歳出 1億8,265万6,999円

●歳入歳出差引額 0円

●太陽光発電事業

歳入 2億7,061万2,485円

歳出 2億6,126万7,813円

●歳入歳出差引額 934万4,672円

公営企業会計決算額

●水道事業

収益的収入 18億635万7,455円

収益的支出 17億2,248万9,001円

資本的収入 11億8,328万6,624円

資本的支出 18億3,994万3,118円

●簡易水道事業

収益的収入 1億3,620万8,870円

収益的支出 1億2,452万9,271円

資本的収入 8,001万7,882円

資本的支出 1億2,985万8,245円

●公共下水道事業

収益的収入 15億6,161万4,071円

収益的支出 14億5,284万9,677円

資本的収入 5億8,227万9,710円

資本的支出 10億2,910万3,660円

●農業集落排水事業

収益的収入 2億5,035万8,265円

収益的支出 2億734万4,046円

資本的収入 2,180万2,544円

資本的支出 8,967万9,301円

※公営企業会計決算の詳細は、市ホームページをご覧ください。



水道



下水道